

教科

総合・道徳

外来種問題について

外来種はどのように日本にやってきたの？

テーマ① 外来種がどのようにして日本に入ったのか調べよう

日本の外来生物は世界各外国産の生物の数は約2000種にもなります。明治以降、人間の移住や物流が盛んになり、多くの動物や植物がペットや観賞魚、食用、遊玩などの目的で輸入されています。一方、荷物や乗り物などにまぎれ込み入り、付随して持ち込まれたものも多々あります。

農畜、遊楽の動植物は多々ありますが、人間の活動にももたらす影響が大きいものも少なくありません。

※ 養蚕、養蠶のついでに輸入した蚕や蠶の卵は、自然の力で繁殖するものなので外来種には含まれません。

外来種が持ち込まれた経路

- ・ ペットや、観賞の目的で連れてくる。
- ・ 牧草、野菜などの農作物や家畜、食用として持ち込む。
- ・ 外国からの貨物に、まぎれ込んでやってくる。

外来種の中には、農作物や家畜、ペットのように、私たちの生活に欠かせないものも少なくありません。

しかし、農畜やペットのものと生態系は保たれています。そこに外から生物が導入されると、生態系のみならず、人間や、農林水産業まで、幅広くわたって被害を及ぼす場合があります。もちろん全ての外来種が被害を及ぼすわけではありません。自然のバランスの崩れや乱れ、水害や気候変動を原因として定着する生物もいます。

各地の自然環境と大きく異なるため、外来種が持ち込まれると、その生態系に大きな影響を及ぼすことがあります。生態系が崩壊する恐れがあります。特に農畜や遊楽の目的で輸入された外来種は、その影響が大きいと考えられています。

※1) 外来種を養蚕や養蠶のついでに持ち込まれたマダガスカル産のシロアリ

※2) 外来種を養蚕や養蠶のついでに持ち込まれたマダガスカル産のシロアリ

身近にいる外来種の原産地と日本に持ち込まれた理由

アライグマ 原産地：北アメリカ 持ち込まれた理由：毛皮	ハクビシ 原産地：中国東部・東南アジア 持ち込まれた理由：観賞魚	ミシシッピアカミミガメ 原産地：北アメリカ 持ち込まれた理由：ペット
ウツクシ 原産地：北アメリカ 持ち込まれた理由：観賞魚	オオカサバ 原産地：中国東部・東南アジア 持ち込まれた理由：観賞魚	ブルーギル 原産地：北アメリカ 持ち込まれた理由：観賞魚
アメリカザリガニ 原産地：北アメリカ 持ち込まれた理由：観賞魚	セアカサバ 原産地：中国東部・東南アジア 持ち込まれた理由：観賞魚	ハリエンジュ 原産地：北アメリカ 持ち込まれた理由：観賞魚
オオキンケイギク 原産地：北アメリカ 持ち込まれた理由：観賞魚	セイウチワダツソウ 原産地：北アメリカ 持ち込まれた理由：観賞魚	セイヨウタンポポ 原産地：ヨーロッパ 持ち込まれた理由：観賞魚

外来種問題



① 外来種と聞いてどんな生物を思い浮かべますか？

② 外来種はどのようにして日本にやってきたのでしょうか？

③ 外来種が日本にやってくると困ることはある？

④ すでに日本にいる外来種はどうか心配は思いませんか？

⑤ 外来種を拡げないために自分ができることはありますか？



外来種を拡げないために

テーマ② 外来種がどのようにして日本に入ったのか調べよう

外来生物法に届けられる 外来生物被害予防三原則

外来種による被害を防止することを目的とする法律「外来生物法」では、大きな被害を及ぼす外来種の侵入や外来種の拡大の抑制、防除に関する事項などを規定しています。また、外来種による被害を防止するために、外来生物被害予防三原則を掲げています。

外来生物被害予防三原則

1. 外来生物を自国に日本に「入れない」
2. 刺ついても外来生物を野に「捨てない」
3. 野外にすでにいる外来生物は他の地域に「拡げない」

外来種は人間と自然の間に生息していることが多く、その間接的な被害に即座して対応が難しく、一人一人の責任と、適切な対応が求められています。

外来種が自然環境に侵入するのを防ぐためには、適切な知識とスキルが必要になります。その場合、問題を解決するために多くの個人と協力し合うことが重要です。そのため、問題を解決するために協力することが重要です。

日常的に「捨てない」「拡げない」ことに気を付けたい外来種

アライグマ	ウツクシ	ミシシッピアカミミガメ	ブルーギル
オオカサバ	アメリカザリガニ	ハリエンジュ	オオキンケイギク
オオモンシロアリ	シロアリ	ボナンワタサグ	オオクビキ

Q&A こんどきはどのようにしたらいいの？

Q. 特定外来生物を飼育していいの？

特定外来生物を飼育していいの？ 飼育していいの？ 飼育していいの？ 飼育していいの？

目的

外来種について自分の考えをまとめる。

取り組み内容

- ・日本にやってきた外来種がどれだけ多いのかを知り、その外来種の問題点について考える。
- ・外来種が持ち込まれた原因から、これ以上持ち込まないようにするにはどうすべきか、持ち込まれた外来種についてはどのように対処すべきかを考える。
- ・自分の考えをまとめ、プリントに書く。

参考資料

https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/haitta_3gensoku03.pdf